

# 地域区分について

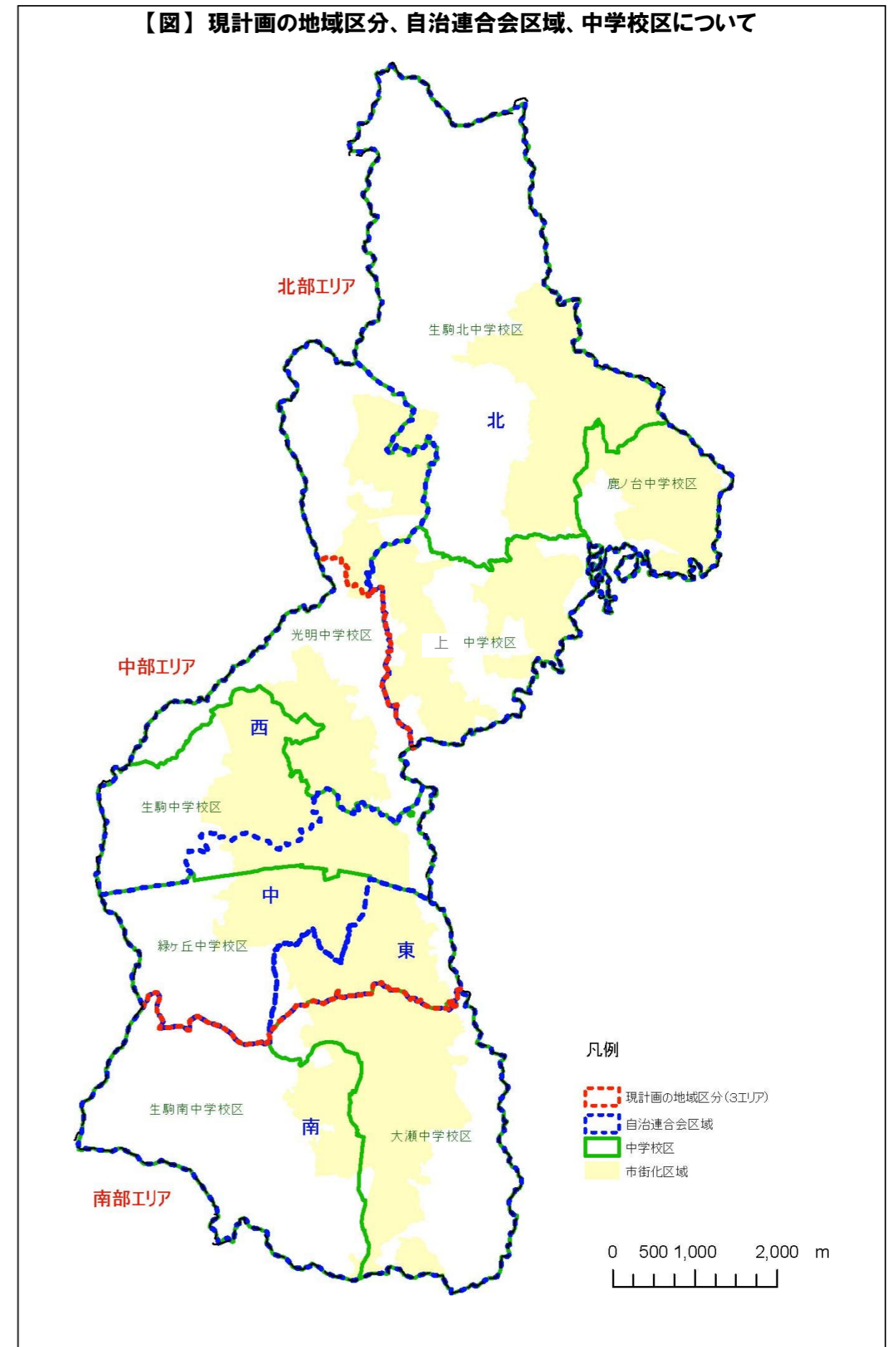
## 1. 地域区分の候補と、各地域の概況について

- 地域区分においては、地域の特性が大きく異なる「大まかな地域」ごとに区分する方向が望まれます。
- 地域区分の候補としては、現計画(3エリア)、自治連合会(5地域)、中学校区(8地域)が想定されます。
- なお、その他の候補区域として、小学校区(12地区)や自治会区域もありますが、かなりの数を有し、本計画に位置づける施策や方針の記載レベル(全体構想が基本)を踏まえると、各地域の違いがわかりにくく、運用しにくいことから、候補からは除外しました。

### ■ 現計画の地域区分、自治連合会、中学校区に留意した、各地区の概況

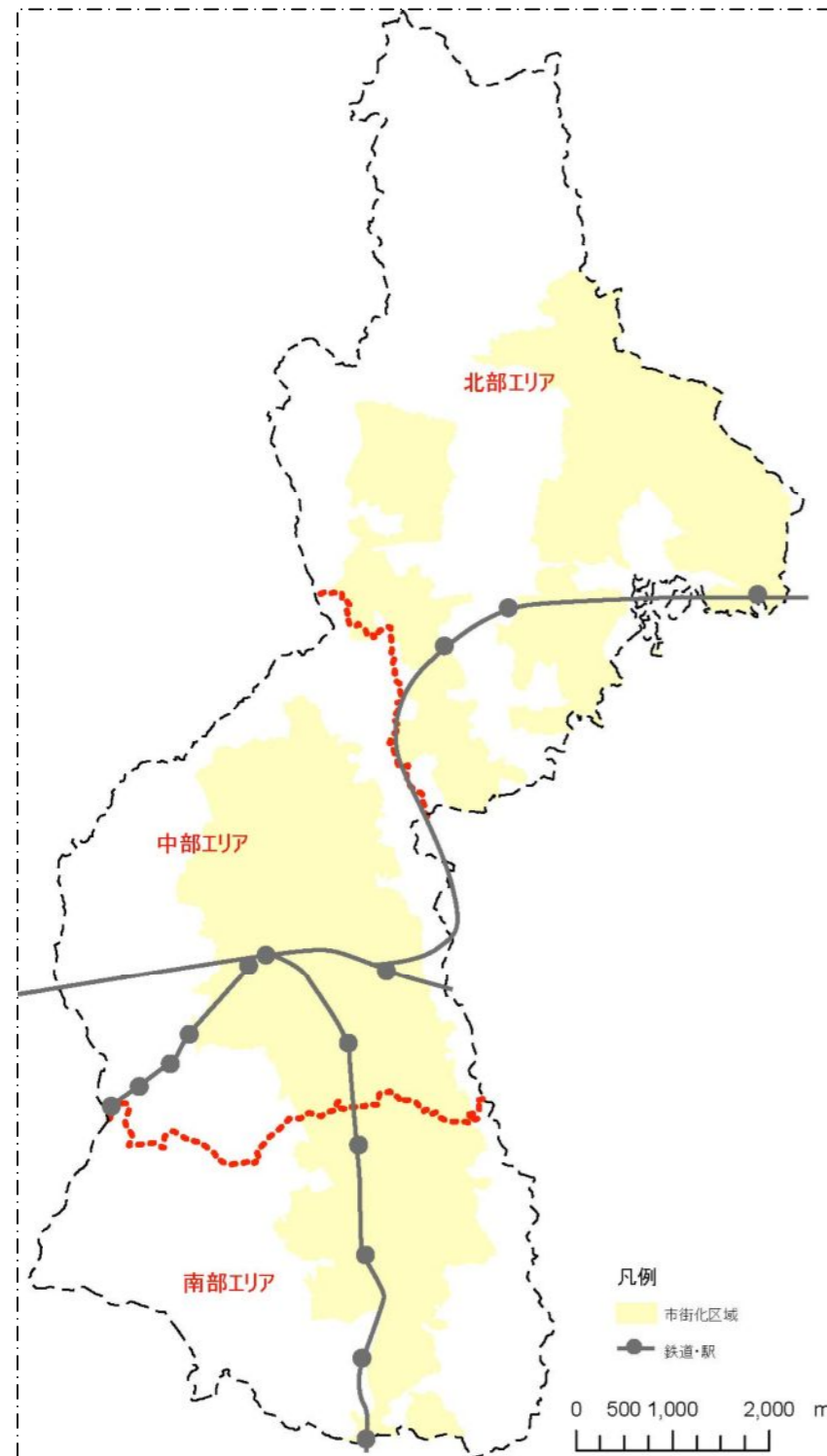
現計画の地域 3エリア	自治連合会 5地域	中学校区 8地域	単位地区 11地区	地域の概況と課題	おもな地域資源
				地域の概況	おもな地域資源
北部	北	生駒北	生駒北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学研都市の学術研究機能が集積。</li> <li>・研究開発型産業施設の立地促進が望まれる。</li> <li>・学研高山第2工区の土地利用が課題。</li> <li>・全国唯一の茶せんの産地である。</li> <li>・山林・田園・水辺等の自然環境が豊かな地域。</li> <li>・人口は減少し、高齢化率は、市平均より高く30%以上35%未満と予想される。</li> <li>・国道163号バイパス線の整備促進。</li> <li>・県道枚方大和郡山線整備促進。</li> </ul>	くろんど池自然公園 高山竹林園 高山城址 高山八幡宮 富雄川
		鹿ノ台	鹿ノ台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学研奈良登美が丘駅周辺で地域拠点形成促進。</li> <li>・大規模住宅地の活力の停滞。</li> <li>・近鉄けいはんな線の開通により、人口は伸びると予想される。</li> <li>・高齢化率は40%以上の地区も予想され平均では33%と予想される。</li> <li>・国道163号線バイパスの整備促進。</li> <li>・大規模開発地周辺でのミニ開発進展。</li> </ul>	
		上	上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白庭台駅周辺での地域拠点形成。</li> <li>・学研北生駒駅周辺での地域拠点開発の進展。</li> <li>・大規模住宅地の開発が進んだ地域。</li> <li>・大規模住宅地の活力の停滞。</li> <li>・近鉄けいはんな線の開通により人口が伸びる地域と高齢化が進む地域が分かれる。</li> <li>・県道枚方大和郡山線沿道の沿道サービス利用が進展。</li> </ul>	生駒市総合公園 長弓寺 富雄川
中部	西	光明(北)	光明(北)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北田原工業団地を形成。</li> <li>・西部は山林・田園が豊か。</li> <li>・国道163号線バイパスの整備促進。</li> <li>・旧集落での高齢化率40%以上と予想される。</li> </ul>	イモ山公園
		光明(南)	光明(南)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山林・田園が多い。</li> <li>・南西部で中小規模の住宅開発が進展。</li> <li>・バス路線が発達し公共交通が充実。</li> <li>・古くに開発された住宅地は高齢化が進展。</li> <li>・国道168号線整備済み</li> </ul>	生駒市総合公園 住吉神社 稲蔵神社
	中	生駒(西)	生駒(西)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部は大半が山林。</li> <li>・周辺部に市街化が拡大した地域。</li> <li>・古くに住宅開発された地域では、生駒駅には徒歩圏内であるが道路等の基盤が十分でなく坂が多い。</li> <li>・コミュニティバスが運行されている。</li> <li>・人口密度は高いが、古くに開発された住宅地では高齢化の進展が予想される。</li> </ul>	生駒山麓公園 長福寺
		生駒(東)	生駒(東)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒駅、東生駒駅北部周辺の都市拠点地区を含む。</li> <li>・東生駒駅周辺では、ミニ開発が進んでいる。</li> <li>・生駒駅、東生駒駅に徒歩圏内であり、古くから市街地が形成されたが道路等の都市基盤が十分でなく坂が多い地区がある。</li> <li>・国道168号線整備済み。</li> <li>・人口密度は高い。</li> </ul>	矢田丘陵遊歩道
	東	緑ヶ丘(西)	緑ヶ丘(西)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒駅、東生駒駅南部周辺の都市拠点地区を含む。</li> <li>・生駒駅に徒歩圏内の、古くに市街地が形成された地域では、道路等の都市基盤が十分でなく坂が多い。</li> <li>・近鉄奈良線、生駒線及び国道168号線が整備され利便性の優れた地域。</li> </ul>	滝寺公園 宝山寺
		緑ヶ丘(東)	緑ヶ丘(東)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒駅、東生駒駅南部周辺の都市拠点地区を含む。</li> <li>・東生駒駅とバス路線の開業と共に大規模住宅開発が市街地周辺部に広がった地域を擁する。</li> <li>・人口密度は高い。</li> <li>・近鉄生駒線、国道168号線沿道は、古くからの市街地を形成。</li> <li>・近鉄生駒線、国道168号線沿道の古くからの市街地は道路等の都市基盤が十分でない地域が存在する。</li> </ul>	往馬神社 矢田丘陵遊歩道 竜田川
南部	南	大瀬	大瀬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模住宅開発が進んだ地域で、その周辺は、ミニ開発の土地利用圧力が高い。</li> <li>・東部は山地。</li> <li>・第2阪奈の開通により交通の利便性向上。</li> <li>・南地域の地域拠点を含む。</li> </ul>	矢田丘陵遊歩道 竜田川
		生駒南	生駒南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2阪奈の開通により交通の利便性向上。</li> <li>・近鉄生駒線、国道168号線の公共交通の利便性によりミニ開発が進展した地域。</li> <li>・西部の大半が山地で棚田を擁する。</li> <li>・暗がり奈良街道(国道308号線)沿いに集落を形成している。</li> <li>・バス路線がない地区である。</li> </ul>	むかい山公園 暗峠 円福寺 竹林時 宝徳寺

【図】 現計画の地域区分、自治連合会区域、中学校区について

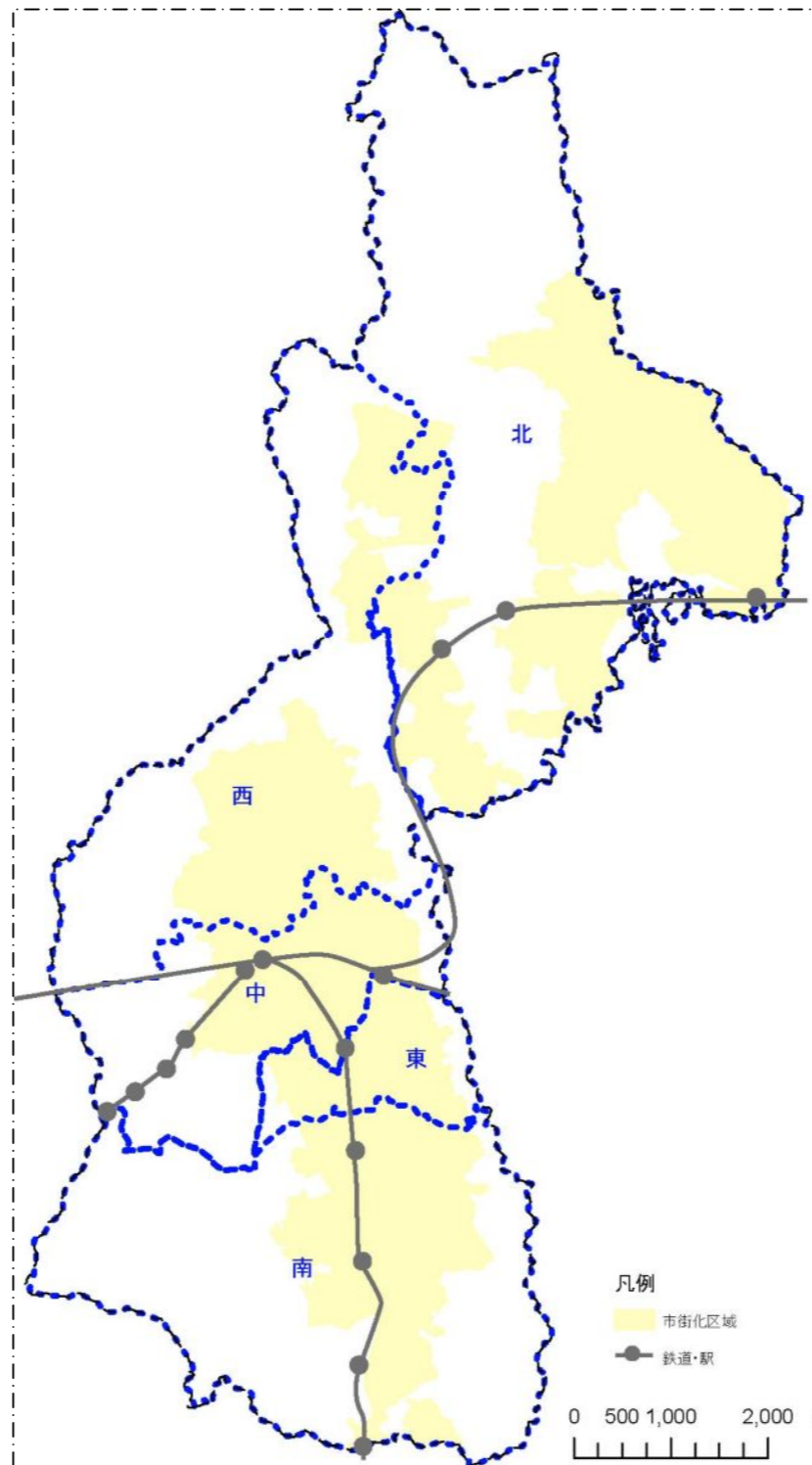


【参考資料-1】 現計画の地域区分、自治連合会区域、中学校区について

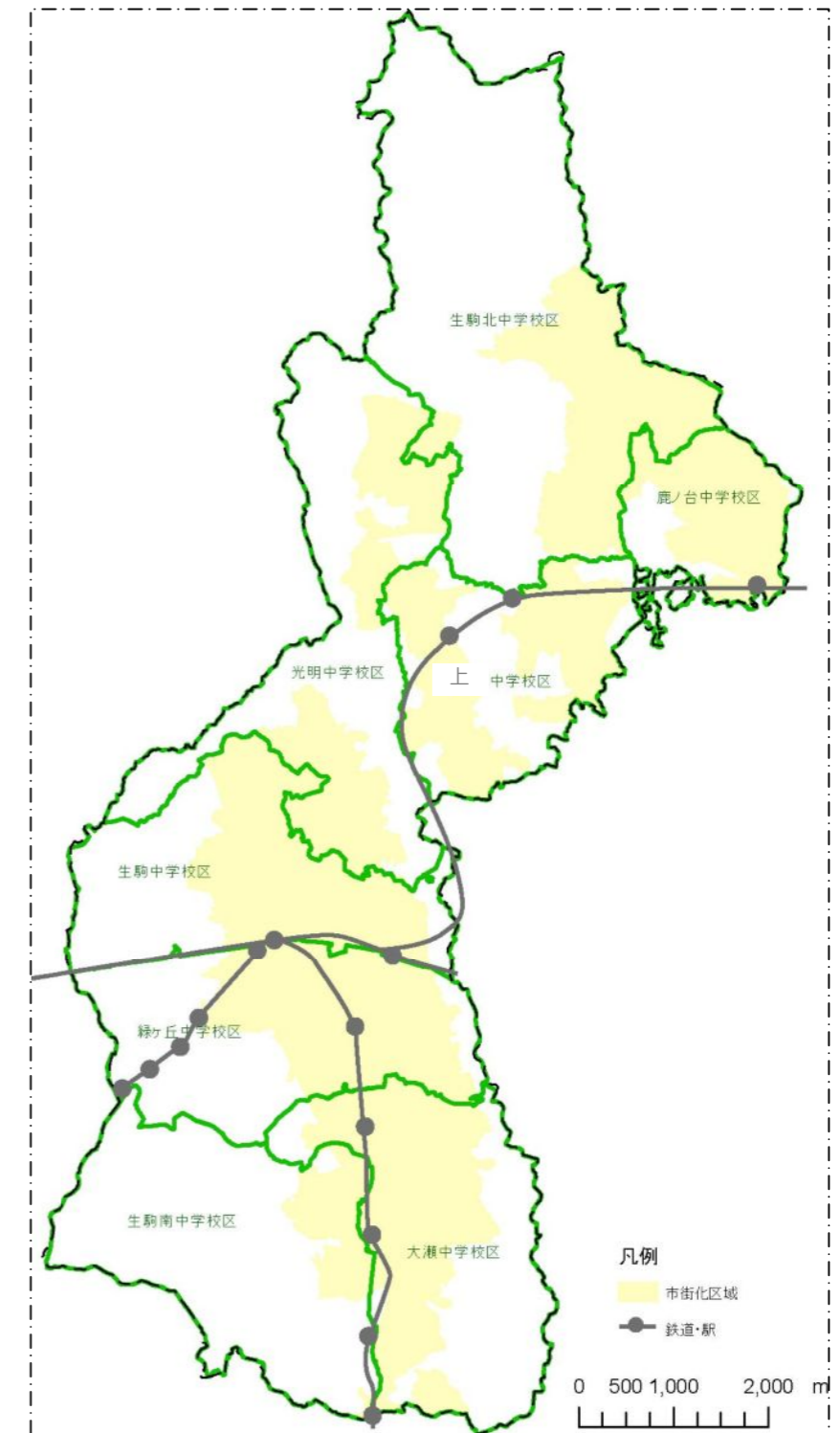
現計画の地域区分(3エリア)



自治連合会区域(5地域)



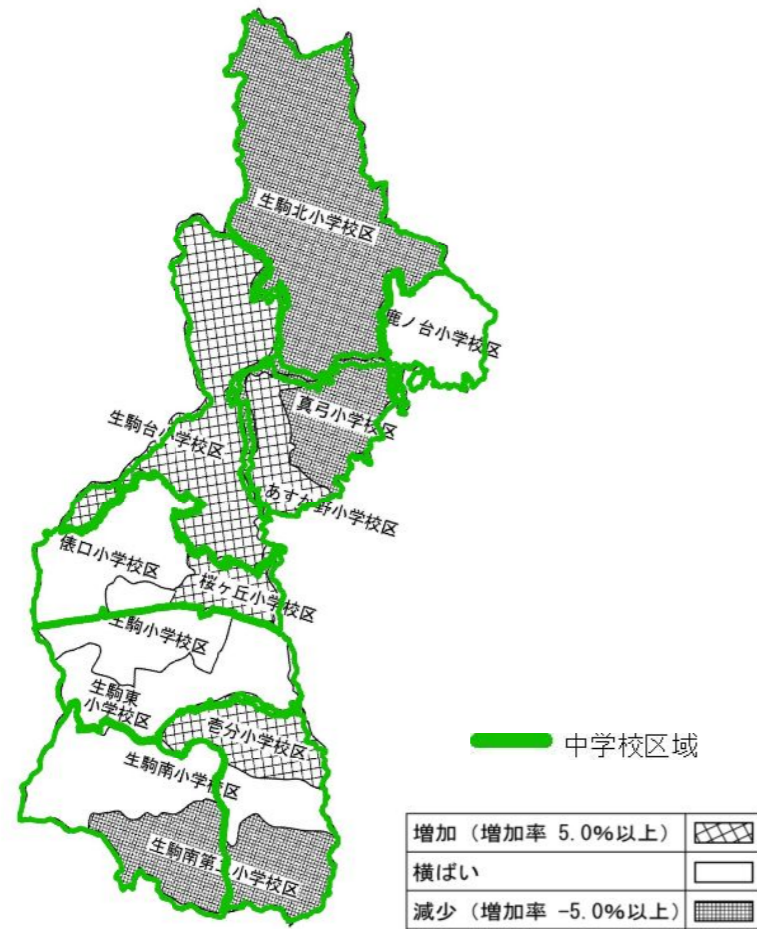
中学校区域(8地域)



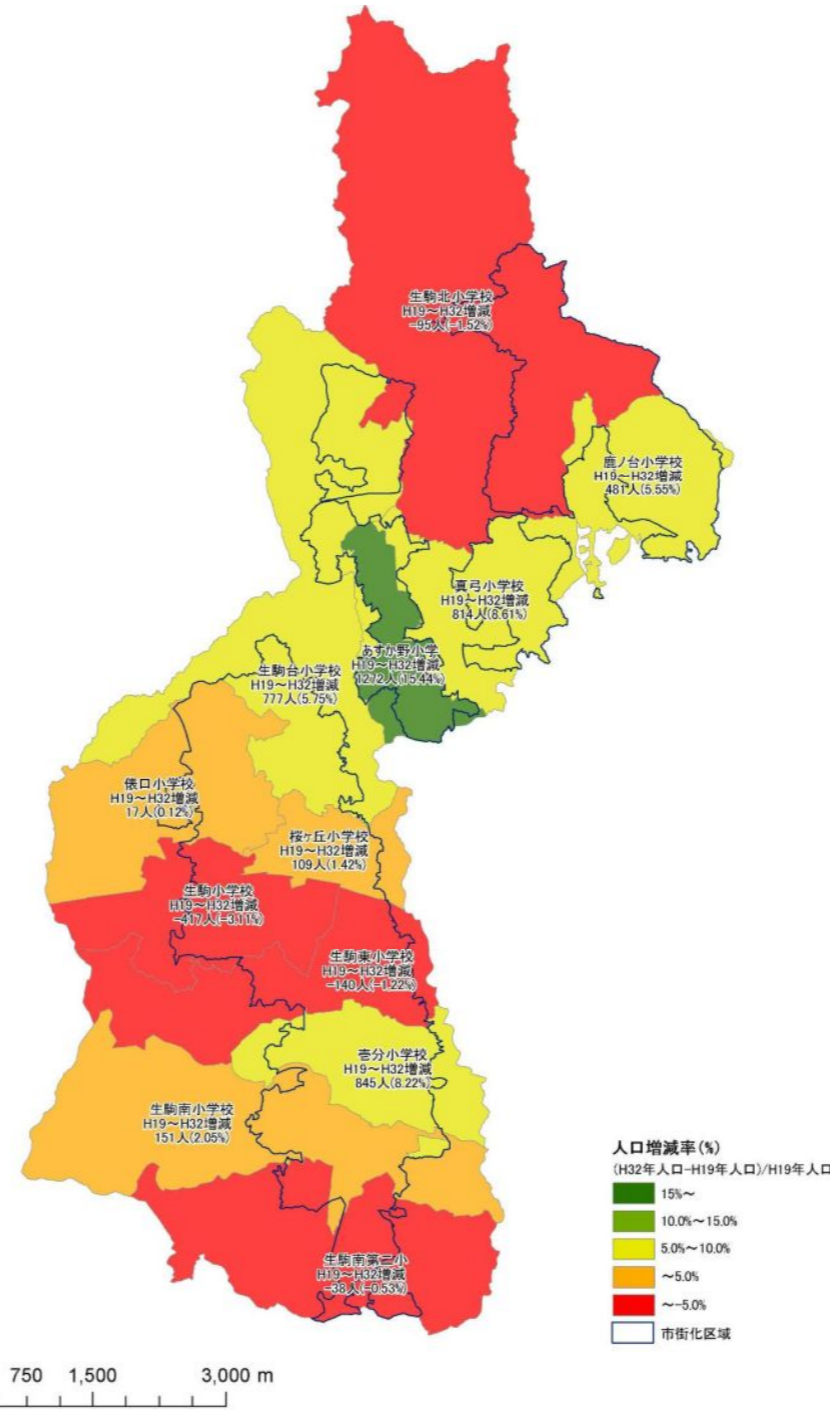


【参考資料-2】地域別の現状について

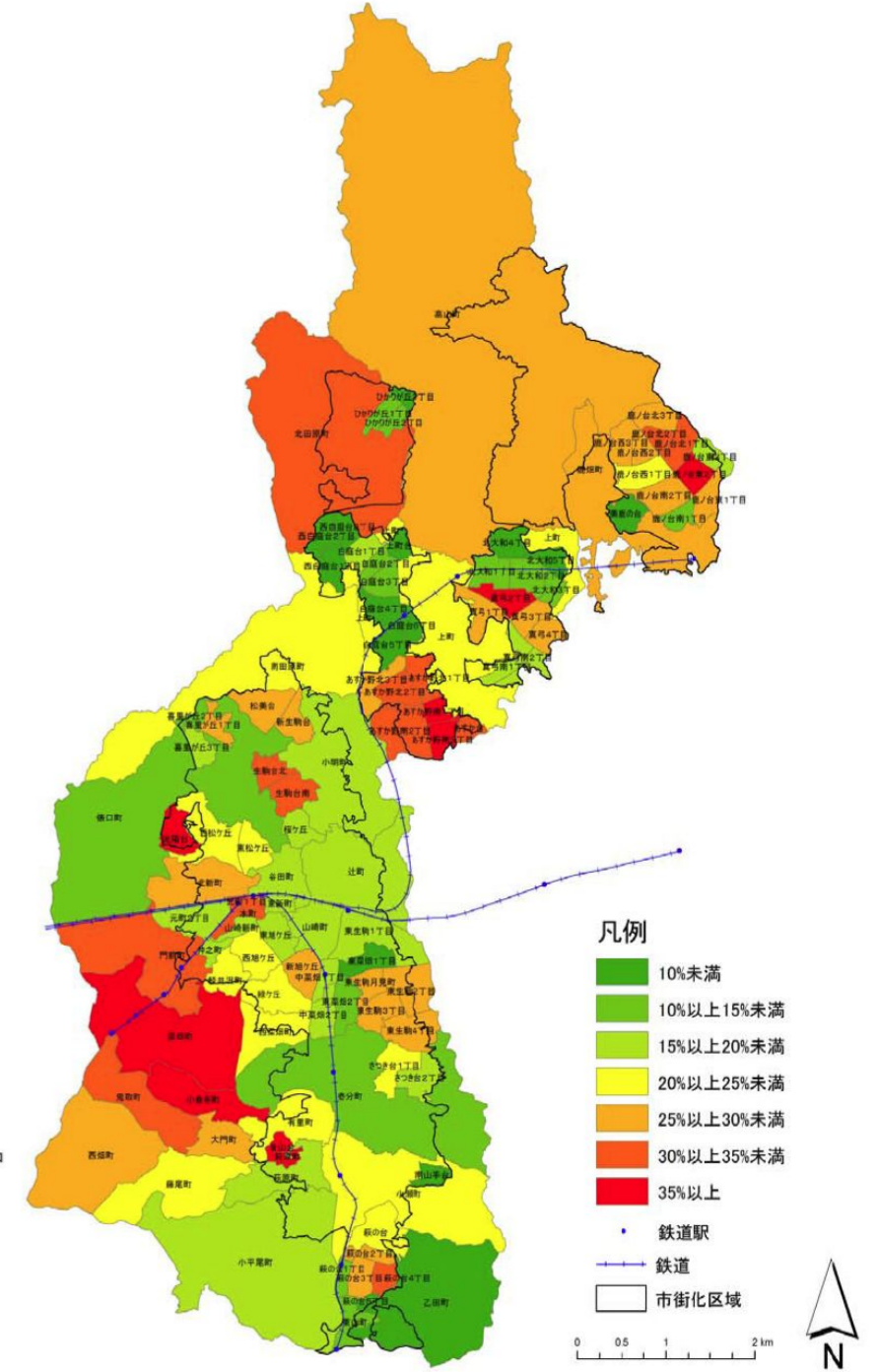
【図①】小学校区別人口増減率



【図②】小学校区別の将来人口の見通し



【図③】地域別高齢化状況図(町別高齢人口比率)

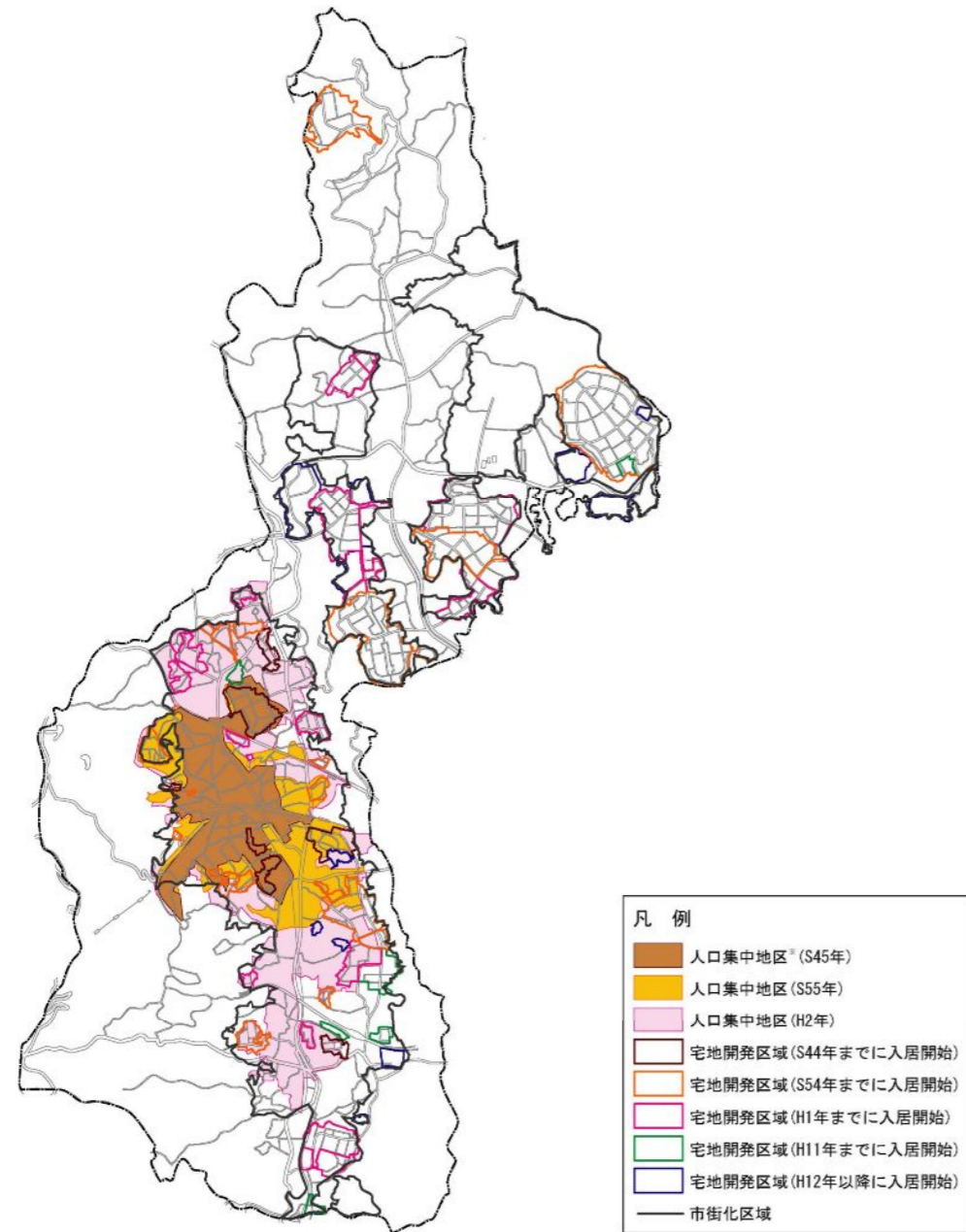


町名	人口(人)		増減率(%)
	平成14年	平成19年	
生駒北小学校区	6,638	6,139	△ 7.52
鹿ノ台小学校区	8,916	8,616	△ 3.36
真弓小学校区	10,062	9,438	△ 6.20
あすか野小学校区	7,369	8,182	11.03
生駒台小学校区	11,791	13,414	13.76
俵口小学校区	13,988	13,749	△ 1.71
桜ヶ丘小学校区	7,072	7,549	6.74
生駒小学校区	13,624	13,248	△ 2.76
生駒東小学校区	10,934	11,435	4.58
生駒南小学校区	7,466	7,357	△ 1.46
壱分小学校区	9,019	10,232	13.45
生駒南第二小学校区	7,378	7,129	△ 3.37
合計	114,257	116,488	1.95

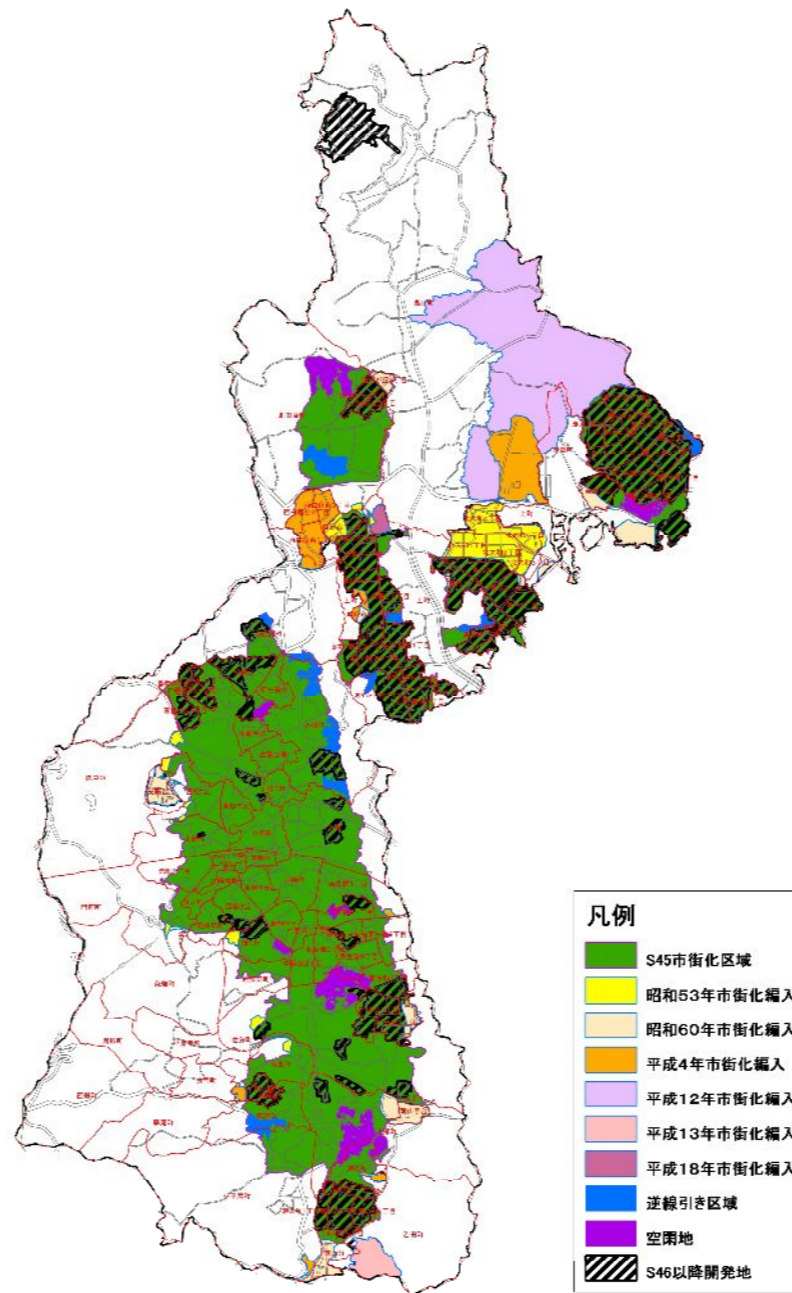
(注) 将来の人口推計値は、第5次生駒市総合計画人口フレーム推計結果に基づき、整理を行ったもの



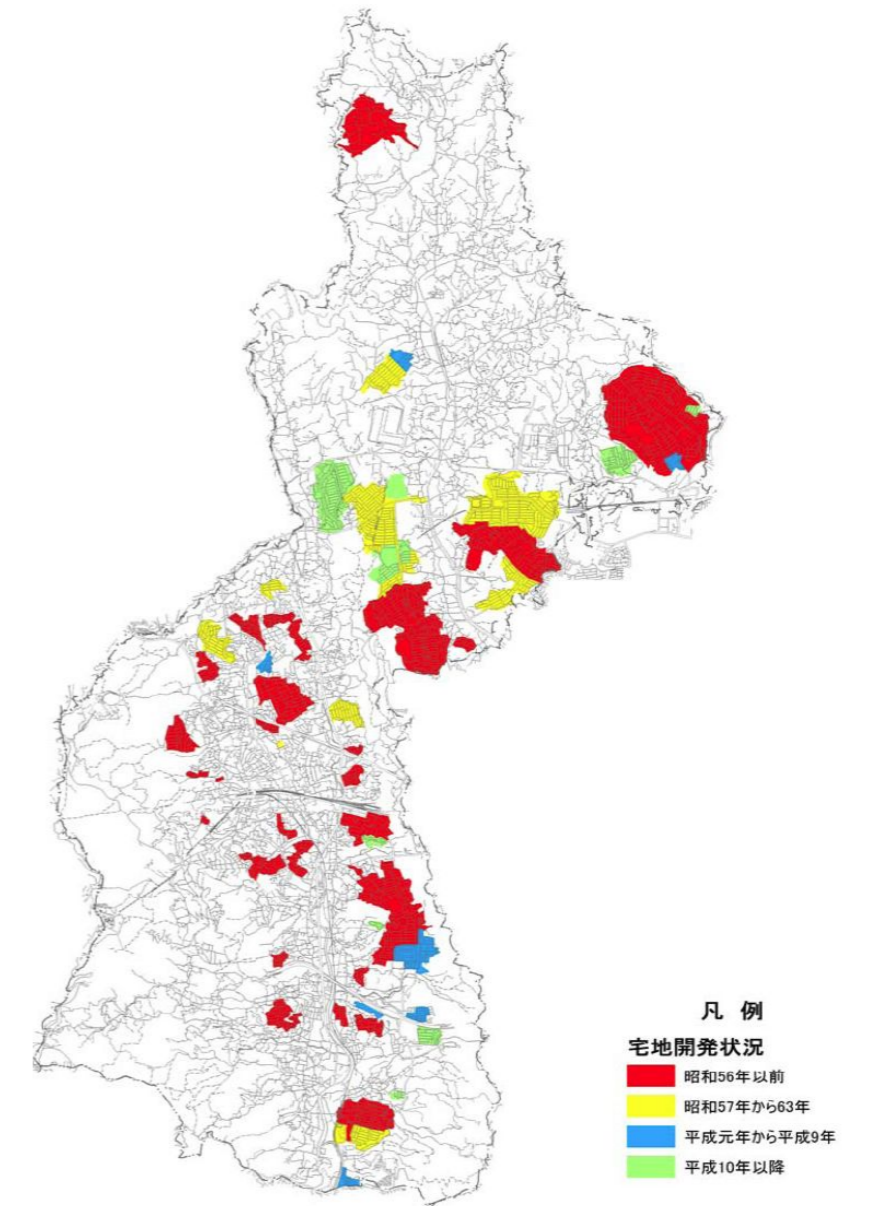
【図④】市街地形成の変遷



【図⑤】市街化区域の変遷



【図⑥】住宅団地進展図(宅地開発の変遷)

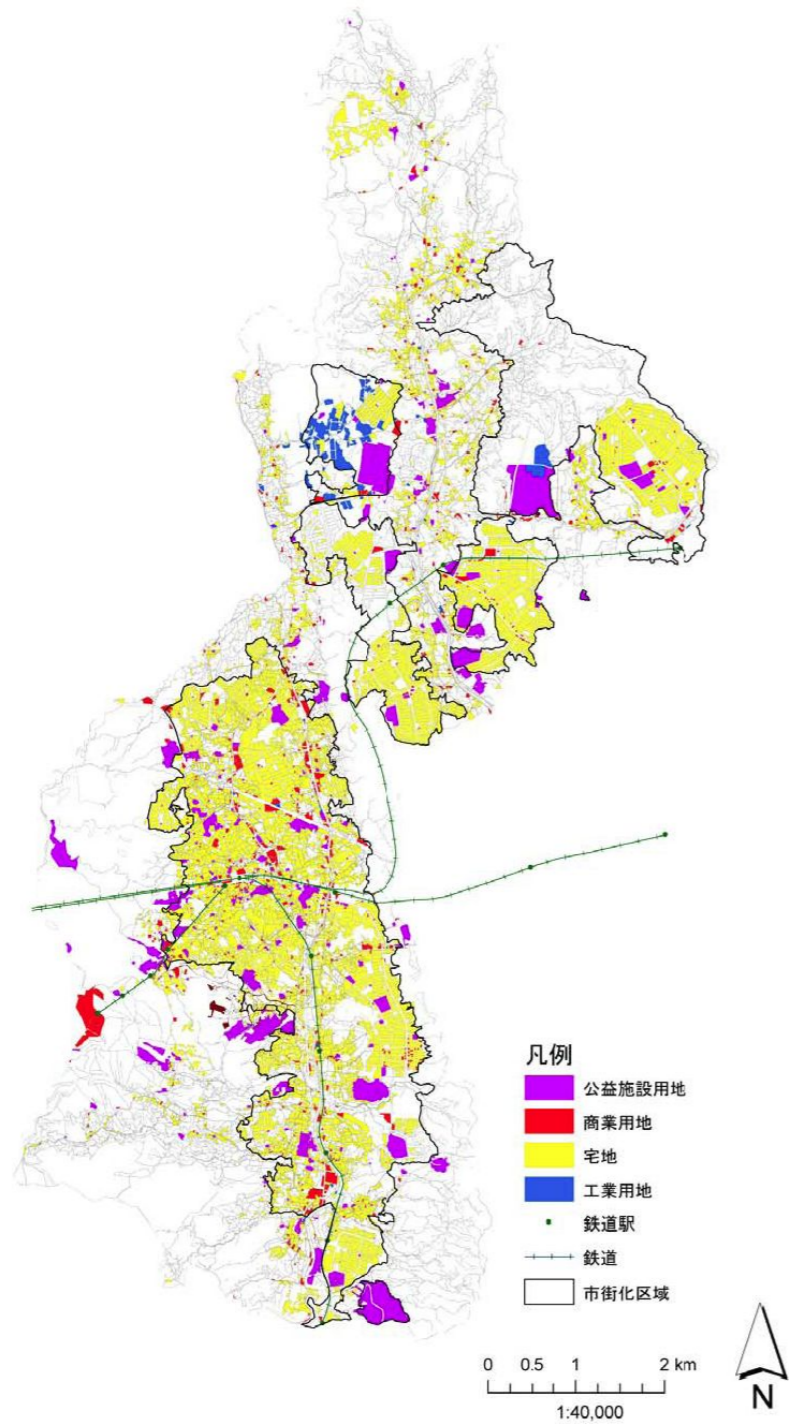


※人口集中地区

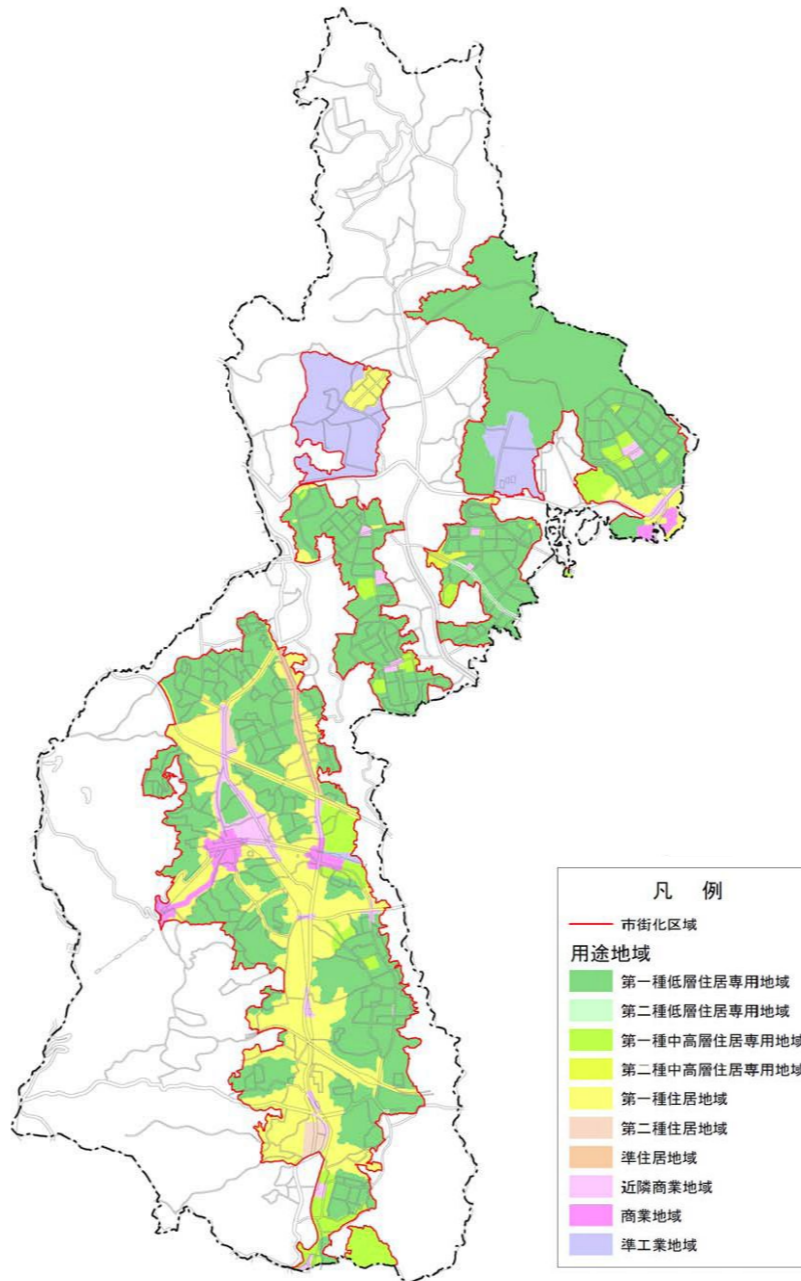
人口密度が1km<sup>2</sup>当たり4,000人以上の地区が隣接して、それらの隣接した地区の人口が5,000人以上を有する地区。DID地区。



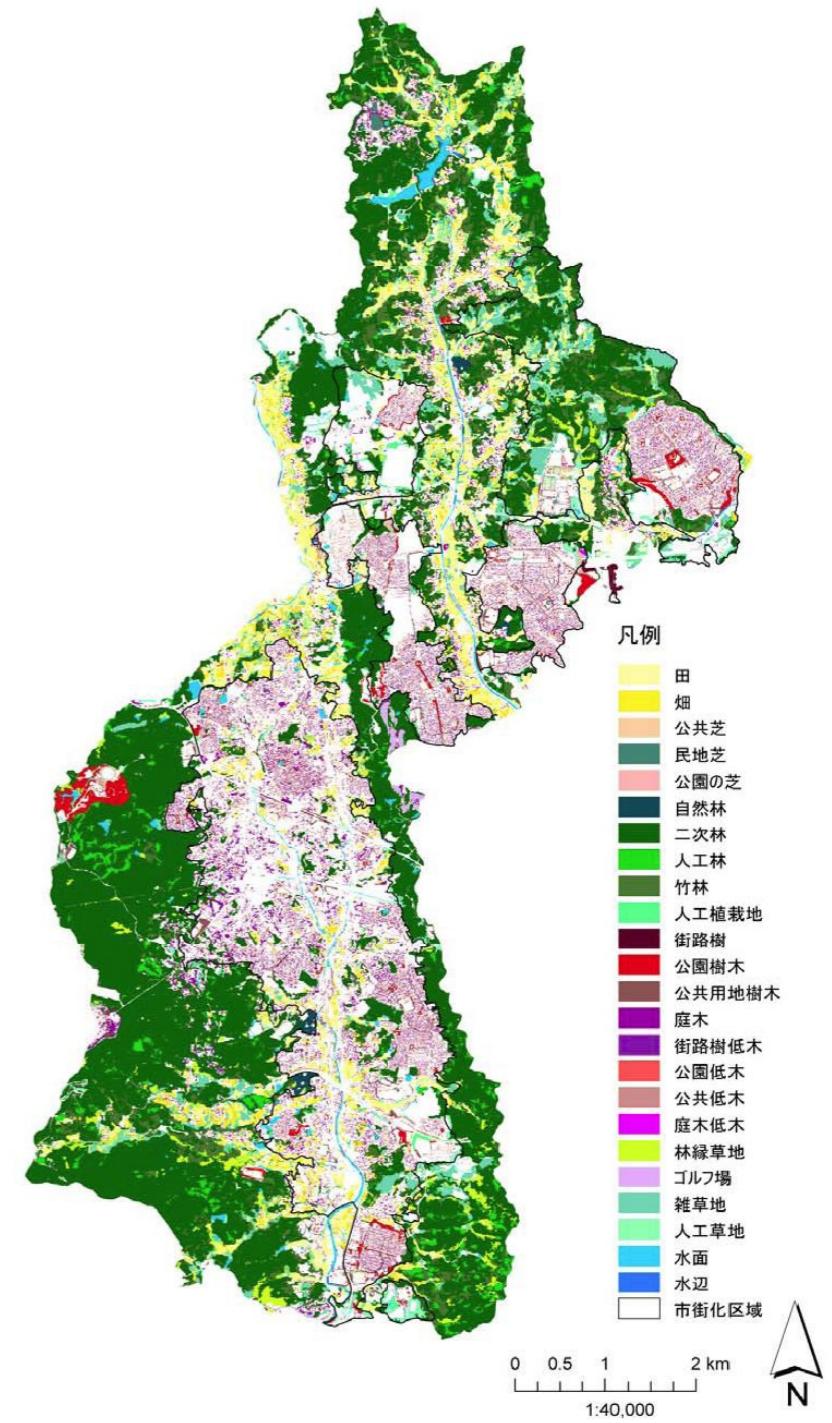
【図⑦】土地利用現況図



【図⑧】用途地域図

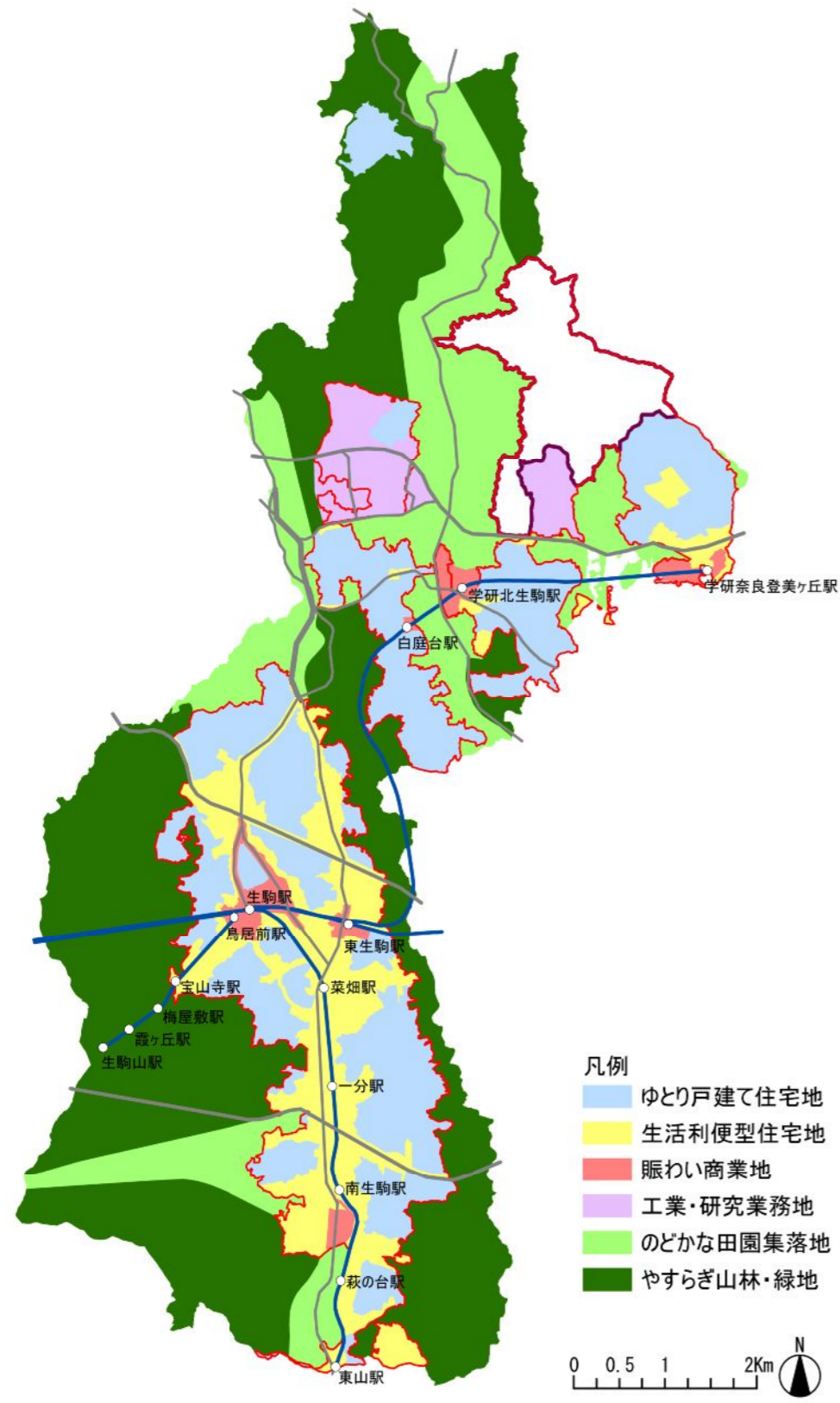


【図⑨】緑地現況図

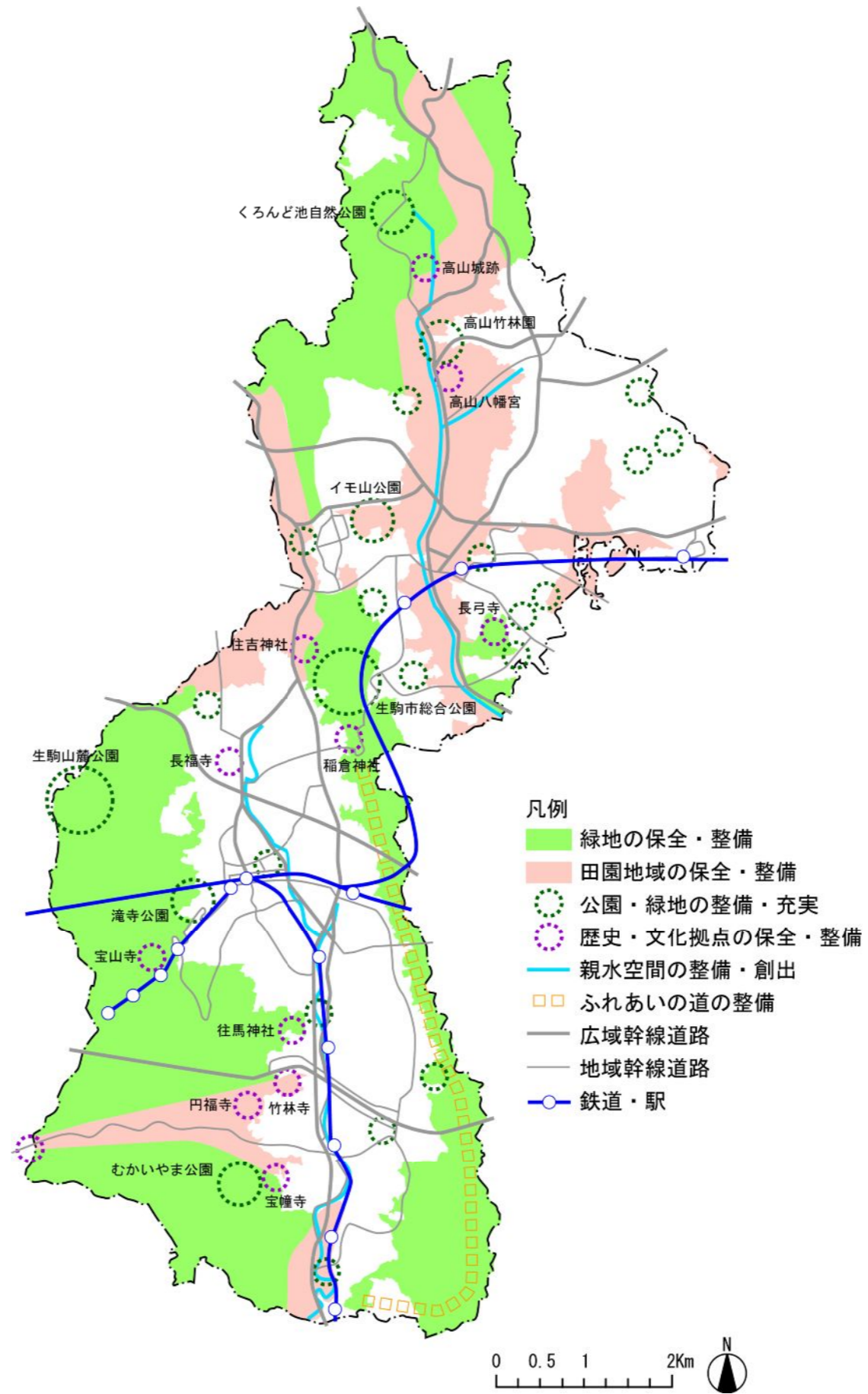




【図10】土地利用の方針図



【図11】水と緑のまちづくりの方針図



## 2. 現計画の地域別構想の概要と、見直しの留意事項について

地域区分	地域の特性と課題 (これまでの検討に基づく整理)	将来目標 (現計画の「街づくりの目標」)	見直しの留意事項	将来目標 (見直し案)
【北部エリア】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術研究拠点の位置づけ ⇒機能集積の強化、高山第2工区の方向の課題</li> <li>・産業拠点の位置づけ ⇒産業機能集積の強化、高山第2工区の方向の課題</li> <li>・拠点駅周辺の新たな拠点整備の進展 ⇒適切な開発等の誘導と、生活支援機能の強化</li> <li>・高山等の山林・水辺・田園等の豊かな自然的環境や歴史文化資源 ⇒良好な地域資源の保全と活用促進</li> <li>・良好な大規模住宅地開発の進展 ⇒活力停滞する住宅団地等の居住環境の維持・向上</li> </ul>	<p><b>豊かな自然環境と共生する新しいまちの創造</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生駒の新しい「顔」の創出</li> <li>・ 快適な都市空間の整備</li> <li>・ ふれあいを大切にしたコミュニティの育成</li> <li>・ 歴史・緑の拠点づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術研究拠点の高山第2工区の方向の課題</li> <li>・産業拠点の機能集積の強化</li> <li>・拠点駅周辺における適切な開発等の誘導と、生活支援機能の強化</li> <li>・高山等の良好な地域資源の保全と活用促進</li> <li>・活力停滞する住宅団地等の居住環境の維持・向上</li> <li>・協働の取り組み推進</li> </ul>	
【中部エリア】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒駅のまちの中心部の位置づけ、都市機能の高い集積、拠点駅周辺の新たな拠点整備の進展 ⇒適切な開発等の誘導と、中心部および玄関口としてふさわしい機能等の強化、既存商店街の活性化</li> <li>・生駒山麓等の豊かな山林・眺望資源や歴史文化資源等の観光資源の集積 ⇒良好な地域資源の保全と活用促進</li> <li>・古くからの既成市街地の整備・進展 ⇒活力停滞する既成市街地等の居住環境の維持・向上</li> </ul>	<p><b>快適さとにぎわい 魅力あふれる拠点の形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ にぎわいと魅力のある都市拠点の形勢</li> <li>・ 交流と発展を育む都市空間の整備</li> <li>・ 安心・安全・ゆとりの居住環境の整備</li> <li>・ 地域資源のネットワークづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒駅の中心部および玄関口としてふさわしい機能等の強化</li> <li>・生駒山麓等の豊かな山林・眺望資源や歴史文化資源等の保全と活用促進</li> <li>・活力停滞する既成市街地等の居住環境の維持・向上</li> <li>・協働の取り組み推進</li> </ul>	
【南部エリア】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒山の眺望や暗がり峠等の豊かな山林資源や歴史文化資源等の集積、市街地中央を縦貫する竜田川のうるおい ⇒良好な地域資源の保全と活用促進</li> <li>・南生駒駅周辺の生活支援機能の集積、身近な鉄道駅が存在 ⇒地域住民の生活支援機能の強化</li> <li>・古くからの既成市街地の整備・進展 ⇒活力停滞する既成市街地等の居住環境の維持・向上</li> </ul>	<p><b>活気にあふれた拠点づくりと 歴史に育まれたふるさと環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美しさと活気にあふれた都市拠点の形成</li> <li>・ 地域のまとまりと調和を目指した街づくり</li> <li>・ うるおいのあるふるさと環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒山の眺望や暗がり峠等の豊かな山林資源や歴史文化資源、竜田川等の保全と活用促進</li> <li>・南生駒駅周辺の生活支援機能の強化</li> <li>・活力停滞する既成市街地等の居住環境の維持・向上</li> <li>・協働の取り組み推進</li> </ul>	